大津市民病院訪問看護ステーション

訪問看護だより

Vol.13（2023 年　秋号）

病院の異動で、９月から新しいスタッフが配属されました。
看護師 13 名、事務 1 名の 14 名で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

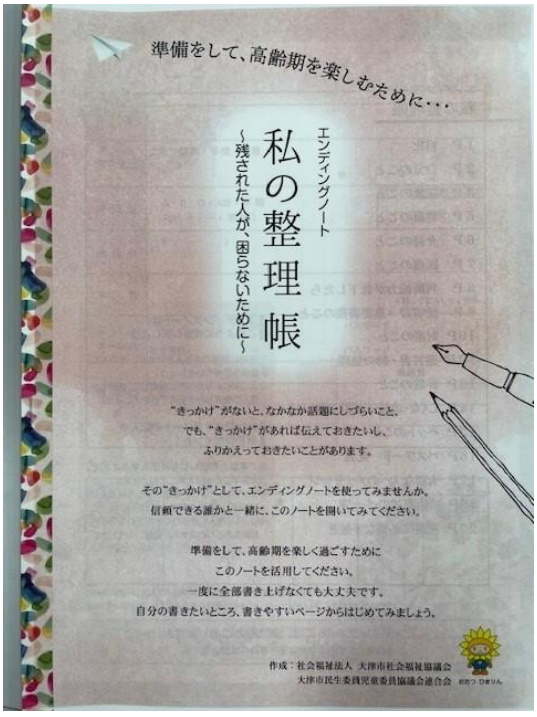
循環器病棟から異動してきました山本奈々です。
安心して自宅で生活を送っていただけるよう
努めてまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーションでは毎週火曜日にカンファレンスをし、より良い看護・ケアができるよう利用者様の情報を共有したり、勉強会をしています。
その中で、以前訪問看護だよりでご紹介した『エンディングノート』を書いてみてどうだったか、意見を出し合いました。そこで出た感想や意見をご紹介します。

自分の必要なこと
を残すもの
いろんな種類が
あるね

誕生日ごとに
書き換えたら
良いかな

自分しか知らない
ことはまとめて
おかないと
いけないな



いざとなると
書きにくいな

家族と一緒に
書くのも
ひとつかな

最近は災害や事故も多く、いつ何があるかはわからない時代です。若い人にも書いていただいて、自分の生活や大切にしたいことを考えるきっかけになればと思いました。

今回は、６０代男性のＡさんから寄せられた旅行記を紹介します。
Ａさんは酸素吸入が常時必要なため、旅先のホテルに酸素の準備をし、体調不良時に備えて医師の情報提供書の準備も万全に、旅行を楽しんでおられます。

横浜旅行記

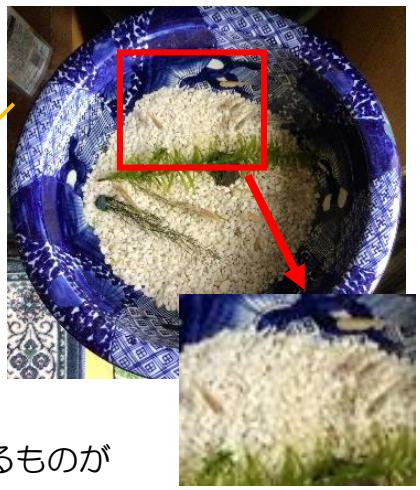
『鎌倉殿の１３人』にちなみ、この夏家族と一緒に横浜・鎌倉旅行を組んでいたのですが、急に体調を崩し緩和ケア科に入院となり旅行は中止。在宅で訪問診療を受けることになり退院しました。

中止になった家族旅行ですが、体調を考え鎌倉は諦め横浜に行って来ました。子ども達はスムースに乗り換えをするにはどうしたらよいか、スマートフォンで現地の公共交通機関の情報を得るのに大変だったと思います。また、旅行中は一人が必ず重たい携帯酸素ボンベを背負ってくれて、少しでも親を助けよう、楽にしてあげようという気もちが感じられ感謝しています。
その日の夜、私の歩数計は１万歩！なのに翌朝子ども達は２万歩？！なぜ１万歩増えたの？？種明かしは、私たち夫婦が寝ている間に、子ども達は横浜コスモワールドに行き、ピカチューの行列に出会ったりして１万歩増えたようです。若いって凄いですね！！
横浜が大きく様変わりしていること以上に、子ども達のパワーアップに大変驚いています。本当によい旅行でした。

帰宅後、主治医に「またどこか行かれるのですか」と聞かれて、少し考えていると言いましたが、もう既に【北海道旅行】を計画しています。飛行機への携帯用酸素ボンベ持ち込み申請や診断書が必要なのは調べています。ホノルルマラソンを諦めたのですから、生まれ故郷の北海道旭川には行かせてください。

ほっと一息

いつもバタバタ生活している中、
訪問先で見つけたホッと癒されたものをご紹介します💛💛💛



卵からかえしたメダカ。
『楊貴妃』という赤いメダカです。
他にメタリックのメダカもいます。

お孫さんが「おばあちゃんはこれが好きそう」と買ってきてくれた、３cm程の小さい一輪挿し

皆さんも、ホッと癒されるものがありますか？